

小4国語 出題のねらいと対策

1 漢字の読み書き 75.6%

ねらい：まちがえやすい漢字に注意し、正しい読み書きができるかを問う。

分析と対策：同じ読みの漢字とまちがえないようにしたり、にた形の漢字と間違えないよう、気をつけてていねいに書く練習をしましょう。

2 熟語の読み方 35.0%

ねらい：漢字の音読みと訓読みの基本的な知識を問う。

分析と対策：「絵」は一字でも意味がわかりますが、訓読みではなく音読みです。また「家」は「いえ」「や」という二つの訓読みがあります。音読みなのか訓読みなのかを意識しながら読みを覚えましょう。

3 漢字の部首 41.3%

ねらい：漢字の部首の基本的な知識を問う。

分析と対策：漢字は主に意味を表す部分が部首となっていることが多くあります。漢字は意味を表す部分と、音を表す部分に分けられることが多いため、部首を考えるときには、どの部分が意味で、どの部分が音を表しているかを考えるようにしましょう。

4 主語・述語・修飾語 68.3%

ねらい：文の成分である主語・述語・修飾語について知識を問う。

分析と対策：普通の語順に直したときに、一番最後になる文節が述語、その述語と直接結びつく言葉の中で、文の主体となる言葉が主語と考えるとわかりやすくなります。

5 物語の読みとり 67.5%

ねらい：登場人物の行動や気持ちを読み取る。

分析と対策：山本省三「キセキのスパゲッティ」からの出題です。イチゴジャムを作るときに、さとうと塩をまちがえてがっかりしている久美ばあちゃんを、主人公の「ぼく」がなんとか元気づけようとしている姿を読みとります。(1)～(3)は久美ばあちゃんの表情の理由や様子などを読みとります。(6)は久美ばあちゃんを元気づけようとする「ぼく」の気持ちを読みとります。

6 説明文の読みとり 42.5%

ねらい：説明文の内容をよく読み、説明されていることがらを的確につかむ。

分析と対策：根本順吉「春のお天気」からの出題です。春によく見られる「かすむ雲」「かすみ」について説明した文章です。「かすみ」と言っても大きく分けて2種類の意味があるため、気象学の用語としては正式な言葉ではないということがのべられています。「第一は」「第二の理由は」などの言葉に着目しながら、説明されていることがらのまとまりを考えて読み進めると、本文に書かれている内容が理解しやすくなります。(2)はつなぎことばの問題です。(3)は現象の理由を読みとります。(7)は内容一致の問題です。本文と照らし合わせて、丁寧に読みとりましょう。

全体の平均点は57.2点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。